

歌誌 黄雞 「秋号七十巻記念特集号」 投稿歌

(新仮名)

山形短歌会 黒沼 貞志

「七十巻を祝う歌一首」

先達の歩みを記す「七十巻」慶賀の年に仲間となりぬ

「我が思い出の一首」

風邪に臥し久々に見る夢の中母の十八番の懐かしき粥

(コメント)

二年前、覚えたての短歌を初めて“やましん歌壇”に投稿した際、一介の投稿者にも拘わらず選者のお一人阿部京子先生からわざわざ架電を頂戴し、二句目の言葉の扱いの指摘、添削をいただいで掲載されたビギナーズブックとも言える一首です。

そのご縁で黄雞に入会させていただき、昨年秋に発刊した弊冊子「続 私的アンソロジー“しあわせの構図”」にもお言葉をいただきました。